

(原子力安全・保安院から配信されたメール)

平成24年7月15日 20時20分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所4号機（起動準備中）に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日18時18分、大飯発電所4号機の中央制御室で、加圧器逃がしタンク※の圧力が高くなったことを示す警報が発生しました。

※運転中、一次系の圧力が高くなった場合に、一次系から逃がした蒸気等を受けるタンク。

警報発生時、加圧器逃がしタンクへ窒素を供給するラインの切り替え作業を実施しており、窒素供給ラインを切り替えた際に、配管内に残っていた圧力の高い窒素が流入したためと推定されます。

加圧器逃がしタンクの圧力上昇は僅か（設計値約700キロパスカルに対し、今回の上昇は39.3キロパスカル）であり、タンクの健全性に問題はありません。

今後、明朝を目途に、加圧器逃がしタンクの窒素を抜き、圧力を降下させる作業を行う予定です。

外部への放射性物質による影響はありません。

また、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画通りに起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

以上